



商工おのだ

2026

1

No. 871



▶ 赤崎巨大絵馬（赤寄神社）

TOPICS

謹賀新年2026 - 新年のご挨拶 -

『復刻せめんだる』が県特産品振興奨励賞を受賞！

▶ おのだ名産品ぐらんぷり2024 金賞商品！

生成AI活用セミナー開催報告 / DX推進委員会

元気塾「生成AI実践セミナー」参加者募集中！ ほか



商工会議所が未来を変える！

小野田商工会議所

URL <https://www.onoda-cci.or.jp>



新 年 の ご 挨拶



明けましておめでとうございます

小野田商工会議所
会頭 藤田 敏彦



皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、平素から商工会議所の諸活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、世界に目を向けますと、ウクライナ情勢や中東情勢の長期化、米中対立の深まりなど、国際社会は依然として不透明を拭えない状況が続いております。これらはエネルギー価格や原材料価格の高止まり、サプライチェーンの混乱を通じて、私たちの日常生活や企業経営にも大きな影響を及ぼしております。

また、生成AIをはじめとするデジタル技術の急速な進展により、産業構造や働き方は大きな転換期を迎えており、変化への対応力が企業の成長を左右する時代となっています。

一方、国内におきましては、長く続いたデフレからの脱却に向けた動きが見られ、賃上げや設備投資の拡大など、前向きな兆しも表れてきました。しかしその反面、物価上昇による原材料費やエネルギーコストの増加、人手不足の深刻化、さらには、物流・建設分野の構造的課題など、小規模事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しいものがあります。加えて、相次ぐ自然災害を踏まえた防災・減災対策の強化や事業継続計画の重要性も改めて強く認識されているところです。

このような環境の中にあっても、地域の小規模事業者の皆様は、たゆまぬ努力と創意工夫により事業を継続され、雇用の確保と地域経済の下支えに大きく貢献してこられました。心から敬意を表します。

小野田地域におきまして、DXの推進、脱炭素への対応、観光振興やにぎわいの創出、新たな商品・サービスの開発など、将来を見据えた前向きな取り組みが、着実に進められております。

昨年、青年部では、セメント町活性例会として、「～セメント町横丁～ 昭和レトロ祭り」に取り組みされ、交流人口の増大、にぎわいの創出の起爆剤となる取り組みをされ、多くの来場者が参加されました。今年も独創性のある活動を期待しております。

そして、女性会においても、イベントでのバザー出店などににぎわいの創出の一躍を担っていただいていることに感謝しております。

また、私ども小野田商工会議所といたしましても、金融支援や補助金活用の支援をはじめ、経営相談、創業・事業承継、販路開拓、人材確保支援など伴走型支援をさらに充実させ、会員の皆様に寄り添った支援に全力で取り組んでまいります。また、行政や関係機関との連携を一層強化し、地域産業の活性化と持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

本年が、変化を恐れず新たな挑戦に踏み出す一年となり、企業の成長と地域経済の発展につながる年となることを心より願っております。

結びに、皆様方のご健勝とご繁栄を祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



年 頭 所 感



変革と価値共創による 日本経済の再出発

日本商工会議所
会頭 小林 健



明けましておめでとうございます。
2026年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

【成長の果実を賃金や投資へ】

さて、昨年の世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクに加え、関税・輸出管理・産業補助・投資審査などが複合的に作用し、通商環境の再編が進行するなど、不確実性が一段と高まった一年でありました。

国内に目を向けますと、日本経済は賃金と物価の好循環に向けた兆しが明確になりつつありますが、依然として物価上昇に賃金が追いつかず、実質賃金の着実な回復が最大の課題です。長年にわたり染みついたデフレマインドを払拭し、成長の果実を賃金や投資へ確実に循環させることこそ、日本経済の「再出発」に向けた最大の鍵であります。

こうした中、国政においては、憲政史上初の女性総理として高市総理が誕生し、就任直後からトランプ米大統領をはじめ各国首脳との会談を精力的に行い、首脳間の信頼醸成に努めてこられました。また、高市総理が議長を務める「日本成長戦略会議」におきましても、AI・半導体、造船、量子など17の戦略分野への投資に加え、人的資本の強化、労働市場改革、スタートアップ支援、賃上げ環境整備など、将来の成長力を高める政策課題が明確に示されました。国の成長戦略と歩調を合わせつつ、民間の現場から具体的な提言と実行を積み重ねていくことが、私どもの責務であります。

【成長型経済への転換を確固たるものに～ 「変革」と「価値共創」】

わが国の経済は、成長型経済への移行に向けた正念場を迎えています。しかし、企業数の99.7%、雇用の約7割（3大都市圏を除くと約9割）を占める中小企業は、円安・原油高に伴う原材料・エネルギー価格などの高騰、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確固たるものとするためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これからの日本経済を支える基盤になると確信しています。

【「変革と価値共創による日本経済の再出発」 に向けた三つの重点課題】

こうした考えから、私は今期のスローガンとして「変革と価値共創による日本経済の再出発」を掲げました。このスローガンの下、以下の3点を重点課題として当所の運営に取り組んでまいります。

1点目は「成長型経済の実現に向けた環境整備」です。成長型経済を実現するには、コストプッシュ型インフレから、需要拡大によるデマンドプル型インフレへと転換し、賃金と投資の好循環を持続させる必要があります。そのためにも、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、賃上げ原資を確保する観点から官民を挙げて一層強化すべき課題です。加えて、経済安全保障とエネルギー安全保障の両立、過度な円安の是正に向けた金融政策、人手不足への対応、持続可能な全世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となって取り組まれることを心より期待いたします。

【「現場主義・双方向主義」の発展】

私は「原点は対話である」という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の生の声を伺い、各地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は「現場主義・双方向主義」をさらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新 年 の ご 挨拶



新年のお慶びを申し上げます

小野田商工会議所青年部
会長 中野 昌広



新年あけましておめでとうございます。

令和8年の新春を迎えるにあたり、日頃より青年部活動に温かいご理解とご支援を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。皆様のご支援があつてこそ、私たちは地域に根ざした活動を継続し、仲間と共に挑戦を続けることができております。

令和7年度のスローガンは「戮力協心（りくりょくきょうしん）」、サブタイトルとして「In Union, There Is Strength」を掲げました。

“皆で力を合わせ、一つの心で進むとき、大きな力が生まれる”という意味を持つこのスローガンのもと、私たちは仲間と共に力を束ね、地域の未来を切り拓くための様々な挑戦を行ってまいりました。

商工会議所青年部（YEG）は、地域経済の活性化、若手経営者の資質向上、そして仲間との交流によるネットワーク構築を使命としています。小野田YEGは令和7年度において、この使命を果たすべく「地域の未来を見据えた挑戦」と「仲間づくりの強化」をテーマに、年間を通じてさまざまな事業を展開してまいりました。

その中から、主な活動をご紹介します。

【6月例会「超近未来会議

小野田YEGと山陽YEGの挑戦】

山陽YEGの皆さまや市議会議員の皆さまにご参加いただき、行政・議会・若手経済人が一堂に会して地域の将来像について語り合う貴重な場となりました。多様な視点から意見を交わすことで、地域が抱える課題や将来への展望をより具体的に考える機会となりました。

【8月恒例事業

「おのだ七夕祭り2025～歌笑祭～」】

シンガーソングライターや人気YouTuber、小野田スマイルプランナーの皆さまにご出演いただき、地域に大きな賑わいを創出しました。

参加された方々からは「楽しかった」「地域の魅力を改めて感じた」といった声を多くいただき、地域住民の皆さまとの交流を深めることができました。

【9月例会「願いが叶う街プロジェクト

～建築家になろう～】

Aスクエアを設計された建築士をお招きし、子どもたちが“Bスクエア”を構想して模型作りに挑戦するなど、創造力と学びを深める例会となりました。子どもたちが自ら考え、形にする喜びを体験することで、地域の未来を担う世代への教育的な価値も提供できました。

【11月例会「～セメント町横丁～

昭和レトロ祭り】

ガバメントクラウドファンディングを活用し、地域の皆さまと共に作り上げた事業として開催しました。多くの家族連れで賑わい、地域の温かさを再確認する取り組みとなりました。地域住民が主体となって参加するイベントは、地域の絆をより一層深める貴重な機会となります。

さらに、前年に実施した「願いが叶う街プロジェクト」は、山口県商工会議所青年部連合会会員大会にて大賞を受賞しました。地域と共に描いた取り組みが高く評価され、私たちの活動が地域社会に確かな影響を与えていることを実感しております。

組織力の面では、会員数が増加し、青年部の未来を支える力が着実に充実してまいりました。これに対応するため、令和7年度には「会員交流委員会」を設置し、会員間の交流促進やOB・OGの皆さま、他単会との連携強化にも努めております。多様な経験や考えが交わることで、より力強い組織へと成長していることを心強く感じております。

令和8年度には、山口県連 親睦ゴルフ大会を小野田YEGが主管いたします。県連事業を継続的に担える体制づくりは今後の活動において重要であり、本事業を通じてさらなる組織力向上と会員間の交流促進を図ってまいります。

結びに、令和8年が皆さまにとりまして実り多き一年となりますよう、心より祈念申し上げます。今後とも青年部活動への変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

新 年 の ご 挨拶



謹んで新春のお慶びを申し上げます

小野田商工会議所女性会
会長 吉田 緑



新年あけましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。また、平素より女性会の活動にご指導、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は大阪関西万博の開催をはじめ、ドジャースのワールドシリーズ連覇、そして何より日本初の女性総理大臣の誕生と、歓喜に沸いた年ではなかったでしょうか。女性総理の誕生は、女性会としてもとても励みになります。私事ですが、大阪関西万博の開幕を飾るイベント「1万人の第九EXPO2025」に参加し、感動的で記憶に残る経験をさせていただきました。

女性会の活動におきましては、復活！住吉まつりにバザーで出店し、賑やかな活気の中、お祭りムードを演出することが出来ました。

山口県下商工会議所女性会会員大会下松大会には10名で参加し、タレントでリポーターの菊田あやこ氏が、50代から始めた「終活」についてざっくばらんに話され、元気とパワーをもらうことが出来ました。

1年ぶりの小野田駅前フリーマーケットの出店では、お客様の「待っていました」の嬉しいお言葉に励まされ、駅前の活性化の一助となり、次回へも繋げていきたいと思いました。

中国地方商工会議所女性会連合会防府大会は5名で参加し、防府の伝統行事である「笑い講」で大いに盛り上がり、おのだ七夕祭りでは、企業PRブースでうちわ等を配布し、多くのご来場の皆様に受け取って頂き喜んで頂く事ができました。

又、こども食堂推進活動の一つとして、フードパントリーの袋詰めや食品の配布のお手伝いに参加し、地域で活動する大切さを学びました。

全国商工会議所女性会連合会東京大会はホテルニューオータニで開催され、5名参加しました。秋川雅史氏の国歌斉唱や、東京都知事小池百合子氏の挨拶があり、東京ならではの大会に感動いたしました。女性起業家大賞では、45歳での社会復帰の際に、年齢やキャリアの壁に直面し、子育て経験をキャリアと認め、女性が当たり前になれる社会を目指して起業された方が最優秀賞を受賞され、全ての女性が輝ける社会になることを切に願いました。夜の東京タワーでは、ハロウィンのプロジェクションマッピングに歓声を上げ、はとバスでは、2階建てバスの最前列から180度見渡せる、パノラマの都会の景色に歓喜致しました。

長門商工会議所女性会創立40周年記念には4名で参加し、長門市出身の予約の取れない家政婦、タサン志麻さんの講演「家族と食事を楽しむ方法」では、手を抜くことは悪いことではなく、作るより食べる時間を大切にし、会話の時間も楽しんで下さいとお話しされ、食の大切さを学びました。

11月末には藤田会頭をお迎えして、青年部の皆様とご一緒に交流会を開催し、沢山の笑顔の中、親交を深める事ができ、とても楽しく行事を終える事が出来ました。

このように去年は、皆様に支えて頂きながら多くの活動が出来ましたこと、大変嬉しく思っております。刺激を受け合い教わることも多く、自ら学ぶことで磨き輝き、思いやりと優しさも忘れることなく女性会の良さを活かし、これからも笑顔で楽しく活動して参りたいと思います。

皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様のご多幸と益々のご繁栄をお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和8年1月の予定表

1 祝	[元日]
2 金	
3 土	
4 日	
5 月	仕事始め
6 火	
7 水	
8 木	創業相談会・税務（13時30分~16時30分） 年末調整相談会（9時30分~16時30分）
9 金	ITなんでも相談会（13時30分~16時30分）
10 土	
11 日	
12 祝	[成人の日]
13 火	創業相談会・労務（13時30分~16時30分） 年末調整相談会（9時30分~16時30分）
14 水	普通救命講習会・労福（9時~12時）
15 木	創業相談会・法律（14時~）
16 金	育児介護休業法改正セミナー（13時30分~15時） さんようおのだの企業を知ろうツアー
17 土	
18 日	
19 月	記帳・税務相談会（13時~16時）
20 火	創業相談会・税務（13時30分~16時30分）
21 水	創業相談会・経営（9時~17時）
22 木	
23 金	
24 土	
25 日	
26 月	
27 火	
28 水	
29 木	
30 金	
31 土	



今月の表紙



赤崎巨大絵馬（赤寄神社）

年の瀬の12月3日（水）、山陽小野田市の赤寄神社に巨大絵馬が奉納されました。

この絵馬は、地元中学校と大学、企業で組織された「赤崎巨大絵馬作製実行委員会」が企画し、作製したものです。

今年の干支である「うま」をモチーフにした白馬が力強く描かれ、「地域の安心・安全と平穏な日々の暮らし」に感謝しながら、これからも「地域が明るく、繋がりが深くありますように」との願いが込められています。

確定申告個別相談会のご案内

小規模事業者を対象とした所得税・消費税確定申告の相談会を開催いたします。この機会に是非ご利用ください。（事前予約制）

《実施日》

- ▶ 2月 / 17日（火）・19日（木）
24日（火）・26日（木）
- ▶ 3月 / 2日（月）・6日（金）
9日（月）

相談時間は各日とも午前と午後の二部制、
9時30分~12時 / 13時~16時30分です。

（会場：Aスクエア 2階 会議室1B）

※予約方法等の詳しい内容については、
別添の本誌折込チラシをご確認ください。

【お問い合わせ先】

小野田商工会議所 まで（☎ 0836-84-4111）

※カレンダー内の個別相談会は、
原則として、事前予約制となります。
ご予約は、当所窓口までご連絡ください。

小野田商工会議所（☎ 0836-84-4111）

「復刻せめんだる」が山口県特産品振興奨励賞（菓子部門）を受賞！

山陽小野田名産品として認定されている、「復刻せめんだる」（製造販売：極みの食パン安都佐）が、2025年度山口県特産品振興奨励賞を受賞されました🏆

この賞は、山口県内の資源や技術を活かした特産品の振興を図ることを目的に、昭和57年度から毎年度、創意と工夫が認められる特産品を対象として授与されています。

日本初の民間セメント会社の設立を機に、「工業のまち」として発展した歴史を持つ旧小野田市。セメントを運ぶ樽をモチーフに作られた最中「せめんだる」は、地元小野田の銘菓として長く愛されてきました。

製造元の倒産により、一時期姿を消してしまった「せめんだる」でしたが、2024年4月に「復刻せめんだる」として蘇り、当所特産品づくり委員会主催の「おのだ名産品ぐらんぷり」においても、2024年度金賞に輝いています。



山口県特産品振興奨励賞を受賞した「復刻せめんだる」

安心 安全 国がつくった

小規模企業共済

経営者のための積み立て式退職金制度

小規模企業者のみなさま

POINT 1 将来の生活安定資金に

小規模企業者が、引退後の生活安定資金を**積み立てる**制度

POINT 2 無理なく積み立て

掛金月額**は1,000円から**設定でき、途中で掛金の増額・減額が可能

POINT 3 今の経営のサポートにも

掛金は全額所得控除、また共済契約者貸付で事業資金等の借入れも可能

＼こんな方が加入できます／

個人事業主・フリーランス

小規模企業等の経営者・役員

個人事業の共同経営者

オンラインで加入申込受け付け中

くわしくは**ウェブサイト**をご覧ください。

小規模企業共済 **検索**

生成AI活用セミナー開催報告

去る11月25日、12月3日、12月9日の3日間にわたり当委員会企画による「業務効率化に向けた生成AI活用のしかた」と題したセミナーを盛況のうちに開催いたしました。

本セミナーは、急速に進化するAI技術を具体的なビジネスの現場に取り入れ、業務効率の飛躍的な向上と、アイデア次第で新たな価値を生み出すことを目的として実施しました。当日は、予想を大きく上回る多数の皆様にご参加いただき、AIに対する関心の高さを改めて実感いたしました。

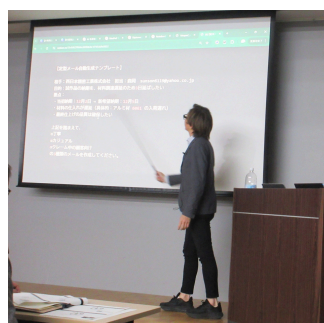
小野田商工会議所／DX推進委員会

身近な業務革新から新たな価値創造へAIで業務を向上！

1回目は、まずAIというもののや生成AIの活用による社会情勢の変化について説明があり実際に生成AIを活用して業務改善に成功した事例をご紹介します。



2回目は、日々の業務にすぐに取り入れられるAIツールと、その具体的な活用法に焦点を当てたデモンストレーションを行っていただきました。



講師からは、会議の議事録作成を自動化するツールや、大量の資料から要点を瞬時に抽出する技術、動画作成や専門知識を必要とするメールの定型文作成を支援するAIなど、「人手を介さず、すぐに成果が出る」実践的なツールの使用方法が丁寧に解説されました。

参加者の皆様は、その驚異的なスピードと精度に、業務時間の大幅な削減が見込めることをイメージできたのではないかと思います。

参加者の感想の中にはAIがこれほど身近な業務に使えるとは驚きでしたとの声もあり、「早速明日から試してみたいと思います。」「複雑だと思っていたAIが、デモで見てシンプルに理解できました。」といった感想もお聞きしました。

また、生成AIの進化はすさまじく、効率化だけではなくAIを「アイデア次第で新たな価値を生むツール」として捉えるための応用事例を紹介いたしました。これまでの業務の延長線上にはなかった、創造的なAIの活用法を紹介いただきました。

3回目にはサイバーセキュリティの重要性について講義があり、業務効率化のために生成AIを使うこと、またそれによって構築されたシステムを使うことと実際に安全に運用していくことは別の次元であるという内容に、参加者からは「常にセキュリティの意識をもっていくことが重要」という感想をいただきました。



本セミナーは、参加者の方々がAIを活用した業務改善への「第一歩」を踏み出すための具体的な道筋を示すことができたと思います。

今後も当DX推進委員会では、基礎的なDX推進をサポートしていきますが、加えて一步先を行くビジネス改革を実現するためのAI活用に関する情報提供や、より専門的な分野に特化したセミナーを企画してまいります。

ラジオで会員事業所を紹介!

『木曜!ラジオde回覧板』



・FMスマイルウェーブにて放送中!!
・毎月第3木曜/18時15分~18時55分

今回の出演者

介護・福祉タクシー
えがお

あわや ゆたか
代表 栗屋 裕 さん



介護保険の「隙間」を埋めようと奮闘する栗屋さん㊦

11月20日放送の『木曜!ラジオde回覧板』は、この夏、令和7年8月に山陽小野田市で新規開業した「介護・福祉タクシーえがお」代表の栗屋 裕さんにご出演いただきました。

今回の放送では、栗屋さんの起業に至るまでの経緯と事業に対する想いをインタビューしました♪

介護保険の“枠”を超えた福祉サービス

「介護・福祉タクシーえがお」は、介護保険ではなく一般の福祉を目的としているので、介護保険適用外で運行されています。介護保険サービスでは対応しきれない柔軟なサービスを提供しています。

対象は、車椅子の方や身体障がい者の方、支援や介護が必要な方、さらには臨月の妊婦さんなど、一人では一般のタクシー移動が難しいすべての方です。

37年の保険会社勤務からの転身

前職は、開業前まで保険会社で37年間勤務していました。全国転勤の生活を送る中で、定年延長の話が出たことと、地元にいる両親（父87歳、母84歳）のサポートが必要になったことが重なり、私は60歳になる前に早期定年制度で退職を選び、山陽小野田市に戻る決断をしました。

当時勤めていた長崎支店時代の先輩が、介護タクシー事業を始めたこともきっかけの一つでした。

長年の保険業務で介護保険制度の知識を身につけていたため、保険ではカバーしきれない限界の部分はこの福祉タクシー事業で補えると考え、起業に至りました。営業職で培った、マニュアルにないことへの臨機応変な対応力や信頼関係を築く力も、今の事業に活きていると思っています。

「えがお」ならではの画期的なサポート

「介護・福祉タクシーえがお」では、安心安全な搬送はもちろんですが、搬送以外のきめ細やかなサポートも大きな特徴です。

*家族の同乗が可能!

通常の介護保険タクシーでは同乗が断られることが多いですが、「えがお」は介護保険が適用されないため、配偶者や子供など、現地でサポートするご家族の同乗が可能です。

*院内・店内介助サービス!

ご家族の付き添いが難しい場合、お買い物ではスーパーの店内まで車椅子を押して介助し、通院時には病院の受付や院内移動をサポートし、診察が終わるまで待機します。

この院内・店内介助サービスは、基本的に別途料金はかかりません。

*長距離移動・旅行の実現!

車椅子だから、寝たきりだからと諦めていた遠出や旅行の希望（帰省時の会食や思い出の場所への移動など）も、体調を考慮したプランニングにより実現可能です。実際、山陽小野田市内から広島の病院まで搬送した実績もあります。

屋号の「えがお」には、サービス提供側も笑顔で、利用者本人とご家族にも笑顔になってほしいという願いを込めていますと語った栗屋さん。

介護保険制度という枠組みからこぼれ落ちてしまうニーズを拾い上げ、すべての人に移動の自由と安心を提供する、地域にとって欠かせない心強い存在となっています♪

～ すべての人に移動の自由と安心を ～

介護・福祉タクシー えがお

・所在地 山陽小野田市大字西高泊855番地
・TEL 080-2955-8995
・営業 8:30~17:30
・定休日 原則 土日祝

(※ご予約・ご相談は上記時間に關係なく受付します)



公立大学法人 山陽小野田市立 山口東京理科大学 の研究を紹介します！

会報の紙面をお借りして、山口東京理科大学の研究を紹介いたします。ここで紹介する事例をはじめ、本学の研究成果や技術にご興味がありましたら、研究推進課へおたずねください。



異文化間理解と対話力を育む英語使用の研究

—国際交流から見てくるもの—

共通教育センター 講師 渡辺 彰子

グローバル化が進む現代社会において、異なる文化的背景を持つ人々が共に学び、働く機会はますます増えています。こうした国際的な場面で重要となるのが、共通の言語を用いた円滑なコミュニケーションです。私は、海外との大学における異文化交流を対象に、国際共通語としての英語（ELF: English as a Lingua Franca）の観点から、非英語母語話者同士の相互行為（インタラクション）に関する実践的な研究を行っています。特に注目しているのは、ICT（情報通信技術）を活用したオンライン交流の場において、どのような言語的・非言語的な工夫が誤解を避け、相互理解を深めるのに有効かという点です。例えば、話し手が自らの発言を補足したり、相手の理解を確認するための問いかけを行ったりする「気づき」を促す言語使用は、文化的背景の異なる相手との対話において非常に重要です。また、ジェスチャーや視線、間の取り方といった非言語的な要素も、誤解を防ぎ、信頼関係を築くうえで大きな役割を果たします。

さらに、異文化間理解を深めるためには、教員自身の言語使用にも注目する必要があります。教員が学生に対してどのように問いかけ、どのように応答するかによって、学生の気づきや学びの深さが大きく変わるからです。教員が意図的に用いる「気づきを促す言語使用」や、文化的な違いを尊重しながら対話を進める姿勢が、学生の異文化理解を支える鍵になると考えています。

このような研究を通じて、単なる語学力の向上にとどまらず、他者と対話し、共に課題を解決する力を備えた「対話力のある国際人」の育成に貢献することを目指しています。言語は単なる道具ではなく、人と人をつなぐ「橋」です。異なる文化を持つ人々が互いに理解し合い、共に未来を築いていくための基盤として、ELFの視点からの研究は今後ますます重要になると確信しています。

企業活動においても、海外との取引や多国籍チームとの協働が日常化する中で、英語を介した文化間でのコミュニケーションの質が成果に直結する場面が増えています。教育現場での知見は、ビジネスの現場でも応用可能であり、誤解を防ぎ、信頼を築くための言語使用の工夫は、企業の国際競争力を高める一助となるでしょう。今後は、教育と産業界の橋渡しとなるような研究展開も視野に入れていきます。

【キーワード】異文化間理解・対話力・ELF



信頼性の確保された実験結果の重要性について

工学部 医薬工学科 准教授 若栗 忍

皆さんは科学的研究で何が大切だとお考えでしょうか。もちろん最先端の技術を導入し、成果を広く一般化することは研究を行う以上、重要なことです。しかしながら、自分たちの試験結果を正しく記録に残し、得られた結果の解釈を正しく伝えることも科学成果を広める上で非常に重要です。

信頼性の高い研究結果を得ることの重要性は意外と浸透しておりません。研究紹介とは若干異なりますが、ここでは信頼性について述べたいと思います。

私は9月まで受託機関で勤務しており、安全性試験をGLP下で行ったり、食品表示法における特定原材料（アレルギーを引き起こす食品で、食品表示が義務付けられているもの）の外部精度管理調査に従事してまいりました。

安全性試験とは通常、申請前の医薬品や医療機器、化学物質等の人への安全性評価のために行われる試験です。GLPはGood Laboratory Practice（優良試験所基準などと訳される）の略で、得られた試験の結果を再構築するための信頼性を担保する基準です。

また、食品分野における外部精度管理調査とは、市販食品の収去検査等を行う各検査機関が自分たちの検査が正しく行われているか（＝他機関の結果と乖離がないかどうか）について外部機関により評価を受けることです。これにより、どこの検査機関で試験を行っても同じ結果が得られることの担保となります。

どちらの場合でも重要なのは、いかに正しく試験のデータを管理するか、ということでした。これにより、予期せぬ結果が得られた場合、記録を見直すことで行った試験を再構築することができ、原因を発見しやすくなります。

私の専門でもある *in vitro*（動物を用いない試験系）の細胞を用いた安全性試験系は確立した試験系として知られており、誰がやっても安定した結果が得られる方法として、スクリーニング試験などでの複数のデータの比較に適しています。しかし、正しい方法で実験を行っている記録があるから、結果に信頼性が得られ、その結果が正しく評価されます。したがってこれから信頼性を確保しながら研究に取り組むことで社会に貢献していきたいと考えます。

【キーワード】 安全性試験, GLP, 外部精度管理, 信頼性



～ AIに頼んだら、AIが作ってくれる!? ～

1日でホームページ&業務系アプリをAIと作るう!

あなたの“思いつき”を、たった数時間で“ホームページやアプリ”に変えてみませんか？
本セミナーでは、AIと一緒に「ホームページ」と「業務系アプリ（Todo 管理など）」を
二日間にわたって完成させることで、“AIに任せる”開発手法を体感できます。
自分の言葉で指示をするだけで、AIに作ってもらえる状態を実践形式で学べる内容と
なっていますので、この機会にぜひご参加ください！

アジェンダ

第1回 令和8年1月22日（木） 14時～16時

AIとホームページを作ろう

2時間

講師：森岡修一

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1.オープニング | 4.レイアウトやデザインなどを微調整 |
| 2.アカウント作成、セットアップ | 5.質疑応答 |
| 3.AIに指示してホームページを作ろう | 6.まとめ&クロージング |



第2回 令和8年1月29日（木） 14時～16時

AIと業務系アプリを作ろう

2時間

講師：森岡修一

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1.オープニング | 5.タスク追加・完了などの基本機能～応用機能を実装 |
| 2.前回のおさらい | 6.デザインと動作を調整 |
| 3.アプリの構造と仕組みについて | 7.質疑応答 |
| 4.AIに指示して業務系アプリを作ろう | 8.まとめ&クロージング |

こんな方におすすめです！

- ・自分のアイデアを、AIの力で形にしてみたい方
- ・ホームページや業務向けアプリを作りたいけれど、
そもそもITが苦手な方
- ・実務でAIを活用し、業務効率を上げたいと考えている方
- ・日中開催！個人事業の方から企業の実務担当者の方まで

このセミナー受講の効果は？

- ・自分の言葉でAIに指示して動かすことができるスキル
- ・実際に動くホームページと業務系アプリのプロトタイプ
- ・AIに開発してもらい、“任せ方”のコツ

会場

Aスクエア2F会議室1A・B

〒756-0824 山陽小野田市中央二丁目3番1号

定員

会場/30名

先着順：定員に達した場合
お断りすることがあります。

お問い合わせ

小野田商工会議所（Aスクエア 2F）

〒756-0824 山陽小野田市中央二丁目3番1号

Tel: 0836-84-4111 Fax: 0836-84-4180

E-mail: host@onoda-cci.or.jp



小野田商工会議所
ホームページ

主催：小野田商工会議所

協力：小野田商工会議所 DX 推進委員会



小野田商工会議所

▶ 〒756-0824 山口県山陽小野田市中央二丁目3番1号（Aスクエア 2階）

▶ TEL (0836) 84 - 4111 ▶ URL <https://www.onoda-cci.or.jp>